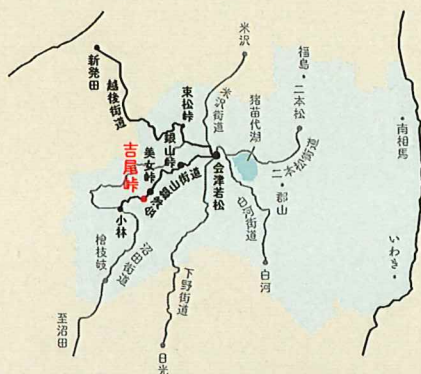


歩く県道とは



福島県では、車の通行が不能となっている県道会津若松三島線、県道小林会津宮下停車場線（会津銀山街道の吉尾峠）を歩く県道として、整備・利活用し、地域の活性化につなげるための取り組みを行っています。今年度も道普請を実施して街道の整備を行うとともに検討会を開催し、峠道を利活用した地域づくり活動について、地域の皆様と話し合いを行いました。

「普請」（結ともいう）は、町村や地区全体にとってプラスになることをみんなの力を合わせて行うことです。今日でも青年団の「むら仕事」や町内会の「側溝の清掃」などが行われています。私たちが取り組む道普請は、人が歩き、馬や牛が行き交っていた時代の主要街道（会津銀山街道と旧越後街道）の峠道を対象として、自然に寄り添った工法「近自然工法」で整備を行っています。



吉尾峠、木を切り丸太橋を架ける



吉尾峠は、沢歩きが楽しめる道です。小さな沢がいくつもあり、道を横断する沢への架橋やぬかるみ改善をしたいと要望をいただいております。

今年度は、川張沢へ丸太橋を架ける取り組みを行い、36名の参加をいただきました。作業は、木を切り出して資材を調達することからはじめ、沢の護岸と丸太橋の設置、周辺の刈り払い等を行いました。丸太橋には管理路を設け、メンテナンスもできるように工夫しました。

「切ったばかりの木はとても重く、運ぶにはテコの原理を使う。」と語る「布沢地区」の刈屋晃吉さんは木を運ぶ道具「鳶口」を使って、簡単に動かします。このように、道普請では地域に伝わる技術も活かして作業を行っています。DIYなど、手づくりすることに興味のある方必見です！

1
234

- 川張沢に設置した丸太橋のピフォー、アフター。歩きやすいように路面の木の組み合わせにこだわりました。丸太一本でも、とても重量があるので、力を合わせて運びました。
- 沢の護岸のため、法面の整形を行っている様子。護岸が大きな橋の基礎にもなるので丁寧に作業を行いました。
- 粗朶柵の施工後の様子。枝葉を活かして整備すると路肩の土の流失を防ぐことができます。
- 田んぼ跡の草の刈り払いも行いました。

里山の技術を活かして 道をつくる

加工
クサビで
割ったり、
ナタで
削ったり



移動
トビグチで
山から出す



間伐
チェーンソーで
木を切る

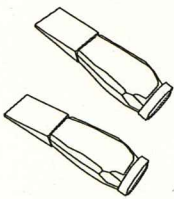


運搬
ミンナで運ぶ

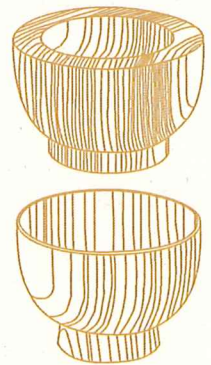


「バキバキバキ。」とカミナリのような音を立てて倒れたのは、大きく成長したブナやカエデでした。吉尾峠の道普請では、資材を現地調達しながら整備を行っています。そのため、木を切りはじめると、途端に大忙しです。山から木を出し、使いやすい長さに揃えたり、太すぎる木を半分に分けたり、針葉樹は長持ちするように樹皮を剥ぐなど、様々な加工を行って、ようやく資材となります。

ブッシュクラフトさながらの技術は、地元の方やアドバイザーの田賀先生から教わります。チェーンソーや鷹口、クサビ、鉈など、様々な道具の扱い方や安全な作業の振る舞いについて、長年培ってきた経験から学ぶことができます。中でも、丸太を半分に割る技術は貴重な体験です。チェーンソーで丸太に縦の溝を刻み、二つのクサビを交互に打ち込んでいきます。木の繊維をよく観察して割る方向を吟味し、クサビを上手に打ち込むと、力がきちんと伝わってきれいに割ることができます。一見、単純な作業に思えますが、皆さんの知恵が詰まっています。



知恵と文化、 吉尾峠と木地師



木地師は、ロクロを用いて椀や盆等の木工品を加工、製造する職人です。吉尾峠には吉尾集落跡と木地師集落跡があり、農家に木工職人が寄り添って暮らしていました。

約1世紀前前にいなくなった木地師たちの暮らしは、3年ほど住む、仮の住まいづくりから始まります。木を伐採して地均しを行い、切った木で小屋を組んでいきます。水は水路をつくり、木を樋に加工して山から引いてきます。これらの作業は、斧や鉈だけで進めます。住まいができると、木工品づくりに移ります。原型となる木塊を切り出して木型をつくり、ロクロで削って、お椀などの形にしていきます。3年もすると適当な木が周囲になくなり、移動して次の土地で同じように新たな毎日が始まります。

身の回りにあるものを使って何でもつくっていた暮らしが吉尾峠にもありました。このような知恵と文化を背景に、地元の皆さんはおのずと里山の技術を習得されてきました。道具の扱いが上手で、山の知識が豊富なもの納得ですね！

会津銀山街道の魅力 「吉尾峠沢歩き」

「布沢地区」では、山の案内人の取り組みを行っています。「峠路を歩く会」のトレッキングでは、東京や会津地方からの参加があり、「恵みの森」から「吉尾峠頂上」までのコースを楽しみました。右写真のとおり、途中に沢を歩く箇所があるので長靴が必須です。河床の岩盤には横穴が見られ、綺麗な水とブナ林を通り抜ける道はマイナスイオンたっぷりです！



ご意見・お問い合わせ

福島県南会津建設事務所 企画調査課

TEL : 0241-62-5322 / FAX : 0241-62-5274



会津銀山街道